

編集後記

◆それぞれの年にそれぞれの夏があります。それにもまして今年の夏はいつもと違った夏でした。長雨や台風、北海道南西沖地震、それに1990年から続いている雲仙普賢岳の噴火活動など、大陸の東、大洋の西に位置する島弧の宿命を覚えてしまいます。被害を被られた方々、そして今なお不安な日々を過ごされている方々に心からお見舞申し上げます。

◆今月号は分析技術の特集です。特集にあたっては当所金井 豊氏をはじめ、地殻化学部の方々にお世話になりました。昨年2月号の「二次イオン質量分析法」特集と合わせて読んでいただければ幸いです。なお地殻化学部三田直樹氏からは生体防御反応を利用したユニークな探査法に関する原稿を頂きましたが、残念ながらページの都合上割愛せざるを得ませんでした。できるだけ早いうちに紹介しようと考えています。

◆地質ニュースの編集に従事して、つくづく編集のしんどさを体験します。とくに表紙とグラビアページには頭を悩ませます。これは学会誌などにはない悩みです。特集号の場合、その号の内容を濃縮したもの、あるいは象徴するものがあるといいのですが、そうは旨いきません。グラビアの候補を求めて慌てて誰彼となく尋ねてまわることになります。

幹事 宮崎光旗 記

原稿募集中！

地質ニュースに寄稿される方へ

1. 地球科学各分野の最近の話題・総説・解説など多方面の原稿を募ります。
2. 原稿は図・表・写真を含め、原則として刷上がり15ページ以内とします。これをこえる場合は事務局に相談して下さい。地質ニュース原稿用紙(25×18字)4枚半が1ページに相当します。
3. ワードプロセッサ使用の場合も、A4判用紙に1行23字とし、行数は20-25行程度として下さい。
4. 句読点・引用符などもすべて1字として下さい。
5. 図・表・写真は本文とは別に1ページとして、それぞれに番号をつけるとともに、希望する掲載サイズを余白に記入して下さい。これらにつける説明文は、本文とは別の原稿用紙に書いて下さい。とくに図と写真は、縮小率を考え鮮明なものを提出して下さい。
6. 原稿の右欄外に図・表・写真の希望する挿入位置を鉛筆で記入して下さい。
7. 表紙やグラビアに用いるカラー写真は、プリント版の他に原版のポジ(スライド)を提出して下さい。プリント版のみの場合は、カビネ〜六切サイズ(表紙は六切)のものに限ります。
8. 原稿は事務局に提出して下さい。編集委員会から受付カードを発行します。掲載は原則として受付順としますが、速報性の高いものは優先的に印刷したいと思います。

〈地質ニュース編集委員会〉

購読者募集中 申し込みは編集委員会へハガキで

地質ニュース編集委員会

委員長：小玉喜三郎

副委員長：佐藤興平

幹事：宮崎光旗・奥村公男・石井武政

委員：今井 登・岡村行信・杉原光彦・内田利弘・

花岡尚之・鈴木尉元・神谷雅晴・吉井守正

事務局：総務部業務課広報係(中島秀記・清水真寿美)

〒305 つくば市東1-1-3 地質調査所

地質ニュース編集委員会

事務局 Tel. 0298-54-3520

Fax. 0298-54-3533

地質ニュースに対するご意見は編集委員会へ

地質ニュース

第469号 1993年9月号
定価 ¥ 770 千 実 費

1993年9月1日 発行

編 集

発 行 人

発 行 所

工業技術院地質調査所
林 久 雄
株式会社 実業公報社
東京都千代田区九段北1の7の8
〒102

Tel. (03)3265-0951 (代表)

振替口座 東京1-32466

麹町局私書箱第21号

印 刷

小宮山印刷工業株式会社

©1993 Geological Survey of Japan

●本誌は東京都の霞が関政府刊行物サービスセンター、八重洲ブックセンター(株)本店およびつくば市の友朋堂書店本店に常備してあります。品切れの際は店頭で注文してください。